

○警戒度を一層高め、園・家庭とが一体となった感染防止対策を徹底

(1) 園における対策の徹底を要請

- ・ 感染リスクが高い行事・保育活動を行う際の感染防止対策の強化
- ・ 感染の発生や職員が不足する場合を想定した業務継続計画（BCP）の点検、策定
※休園期間中に保育が必要になる子への対応や、小学校休業等に伴う職員不足の間の園運営の実施方法、職員応援体制 等
- ・ 臨時休園が長期化した場合の保育が必要な子ども※への代替保育の確保を市町に要請
※医療従事者などエッセンシャルワーカーで仕事を休むことが困難な保護者の子ども

保育園、幼稚園、認定こども園の休園数（R4.1.1以降の累計）	R4.1.28現在（市町等からの報告に基づく）		
	休園日数：1～2日	休園日数：3～5日	休園日数：6日以上
33園	12園	16園	5園

(2) 家庭における対策の徹底を周知

- ・ 健康観察を行い、子どもや家族の体調に変化が生じている場合、通園しないよう徹底
※保育園等の臨時休園に伴う従業員の休暇時の給与の一部助成を受けられる「小学校休業等対応助成金」を保護者へ周知
- ・ 家族が濃厚接触者となった場合や行政検査を受けた場合、受診・相談センターや園へ相談し、登園は慎重に判断

保育園等での子どもや職員の感染が続く場合、今後、家庭保育が可能な範囲での登園自粛要請も検討